

沖レクだより 第62号

スポ・レク祭で友好の輪を広げよう

沖縄県レクリエーション協会
理事長 與那覇 直 樹



2023年5月に新型コロナウイルスは5類に移行しました。沖縄県においても、マスクを取り外す人が増え、本島・離島の観光地に人の波が押し寄せてきました。国際通りも活気を取り戻したように感じます。コロナ禍の3年間、私たちの日常生活は大きく変わりました。マスクの着用は当然のこと、食事や会合等の人数は制限され、あらゆる場所に手指消毒用のボトルが置かれていました。これまでの3年間は、あらゆるイベントが中止に追い込まれ、沖レク協会においても主催事業をはじめ、年間事業の見直し変更や中止が相次ぎ、加盟・協力団体や課程認定校との連携も希薄になっていました。これまでに失われた私たちの生活は、容易に取り戻せるものではないと感じています。

そのような中で、5月20日(土)「沖レク協会 評議員会・理事会、加盟・協力団体代表者会議」が対面で行われたことは大変有意義であったと思います。3年ぶりに代表者が集い、今年度の活動方針や年間計画の確認や意見交換ができました。レクリエーション・インストラクター養成講座は、参加希望者が少なく中止となりましたが、いくつかの主催事業・共催事業等が開催でき、私たちの活動も徐々にコロナ禍前に戻りつつあります。

私自身は8月末に開催された「第61回沖縄県スポーツ推進委員研究大会」において「スポーツ推進委員とレクリエーション支援者の使命と役割」という演題でお話しをさせていただく機会がありました。その中で「レクリエーション活動の目的は、人々の心を元気にすること」。スポーツ推進委員の目的は「国民の健康体力づくりや生涯を通じたスポーツ習慣の形成を図る。」推進委員には「コーディネーターという新たな役割、コミュニティスポーツのリーダーとしての資質・能力の向上を図る。」ことが掲げられているということを確認しました。そのような観点から、レクリエーション支援者とスポーツ推進委員が互いに連携・協働して、地域の元気づくりに取り組めるのではないかと提案させていただきました。

コロナによる生活環境の変化から運動に制限がかかり、体力の低下を招いたり、ソーシャルディスタンスを保つためにコミュニケーションに制限がかかったりと、これまであたりまえのように行われていた活動ができなくなっていました。

コロナの影響は完全に払拭できないのですが、9月末から第26回沖縄県スポーツ・レクリエーション祭が県内各地で開催されます。会員・加盟・協力団体の皆さん、ぜひお近くの会場に足をはこばれて、スポーツに汗を流し、レクリエーションで友好の輪を広げてみてください。「レクリエーション活動の目的は、人々の心を元気にすること」を念頭に、共に活動の輪を広げていきましょう。

編集/発行 沖縄県レクリエーション協会

〒904-2173 沖縄市比屋根5丁目3番1号 沖縄県総合運動公園内

TEL&FAX 098-932-9870 メール oki-rec1974@jewel.ocn.ne.jp

HPアドレス <http://oki-rec.jimdo.com>



この広報誌はスポーツ振興くじ
助成金を受けて発行しています